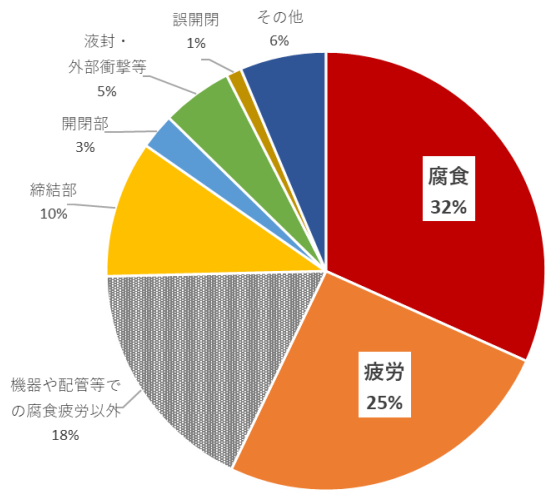


< 冷凍空調設備の使用者、管理者の皆様方へ > 冷凍空調設備からの冷媒ガスの漏えい防止のお願い

冷凍空調設備からの冷媒ガスの漏えいは、
皆様の生活に大きく影響します！

- 【予想されるリスク例】
- ・ 人命に係わる事故の発生
 - ・ 設備の故障や能力低下
 - ・ 温暖化抑制に向けた規制・罰則強化の対象 等



令和元年の冷凍事業所における事故は268件。
腐食・疲労要因が全体の57%を占めており、
人身事故も2件（死亡1件、重症1件）発生。

< 事事故例 >

- ◆ 配管断熱材剥離やコーキング劣化
⇒ 雨水浸入や結露で腐食
- ◆ 天井裏等換気されない場所で配管結露で腐食
- ◆ 水熱交換器における腐食
- ◆ 機器寿命以上の使用で部材が疲労し漏えい 等々

【事故要因分類データ】

高圧ガス保安協会ホームページ 令和元年(2019年)に発生した冷凍空調施設における事故について より

【お願い】

1) 法律の遵守

- 高圧ガス保安法：第一種、第二種製造者は、1日1回以上の**点検義務**
- フロン排出抑制法：
 - ・ フロンを用いた業務用冷凍空調機器は3カ月に1回以上の**簡易点検義務**
 - ・ 一定規模以上の機器は有識者による**定期点検義務**
 - ・ 一定量以上漏えいした場合の**報告義務**

参照) https://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/ozone/law_furon_outline.html

2) 計画的な定期点検実施による予兆の発見

- 長期使用での腐食の進行による現象がないか
 - ・ 凝縮器、受液器、油溜器など床面に近い部分並びにその配管
 - ・ 配管の支持部材に接した部分
 - ・ 天井裏や断熱材内部の配管・接続部などの隠ぺい部分
 - ・ 冷却水やブラインとの接触部位（水やブラインと接触し熱交換する部分） など
- 配管断熱部の劣化、破損はないか
- 異常な音や振動が発生していないか（配管の支持部材や圧縮機の防振材等にも注意）
- 冷却水やブライン等の成分の変化はないか…季節や環境により成分が変化し、腐食が進行

※ 海岸近傍に設置された設備や酢等の臭いのする腐食性環境に設置された設備は腐食の進行が速くなる場合があるため、点検頻度を増やすなどより確実な実施をお願いします。

※ 日本冷凍空調工業会の JRA GL-14：2015 冷凍空調機器の冷媒漏えい防止ガイドライン もご参照下さい